

利根川 (境町)

制作者 6年

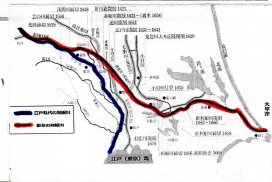
(魚)が自慢! 人よりでかい!!

利根川でこんな大きな魚がいたらつり上げたいと思っただけ、最所、海魚かと思っただけ、利根川にいたしあかた。



(利根川)が自慢!

利根川は、とても広くて、水がきれいな川です。空気もよくて、景色が美しいです。



分かったこと・発見したこと

利根川は、関東地方を北西から南東に流れる川です。延長322kmは信濃川に次ぎ日本第2位。利根川の自然は上流・中流・下流において様相が大きく異なることが多い。

利根川は坂東太郎とも呼ばれ、(影として)筑紫二郎・四目三郎があるよ!

歴史

近世の初め江戸の内海(東京湾)に注ぐ河川の河道を付け変える大工事が行われた。中世末まで利根川と渡良瀬川は二筋の大河をなしていた。利根川は上野国と武蔵国の两国の国境の南で乳流し、渡良瀬川や荒川と合流しながら、江戸の内海へ注ぎ、渡良瀬川は下流を太田とする別個の川であった。




分かったこと・発見したこと

利根川は、関東地方を北西から南東に流れる川です。延長322kmは信濃川に次ぎ日本第2位。利根川の自然は上流・中流・下流において様相が大きく異なることが多い。

利根川は坂東太郎とも呼ばれ、(影として)筑紫二郎・四目三郎があるよ!

歴史

近世の初め江戸の内海(東京湾)に注ぐ河川の河道を付け変える大工事が行われた。中世末まで利根川と渡良瀬川は二筋の大河をなしていた。利根川は上野国と武蔵国の两国の国境の南で乳流し、渡良瀬川や荒川と合流しながら、江戸の内海へ注ぎ、渡良瀬川は下流を太田とする別個の川であった。



まとめ

利根川は、江戸時代からあり続けていることが分かりました。河川の河道を付け変える大工事は、徳川家康が伊東備前守忠次に命じて、60年という長い歳月をかけて、1654年に完了したことが分かりました。利根川は今もきれいな川で、境町にあること、とてもきれいな川で、とても美しいです。

まとめ

利根川は江戸時代からあり続けていることが分かりました。河川の河道を付け変える大工事は、徳川家康が伊東備前守忠次に命じて、60年という長い歳月をかけて、1654年に完了したことが分かりました。利根川は今もきれいな川で、境町にあること、とてもきれいな川で、とても美しいです。

(菜の花フェスティバル)が自慢!

トラクターで美しい菜の花畑の景色が見られ心がなごみます!

2013・7・21(日) 利根川河川敷 打ち上げ数 3000発 昨年の人数 5万人

(境町さと祭り花火大会)が自慢!



(道の駅境)が自慢!

- 新鮮な野菜かじまん!
- 境町の特産品かじまん!
- 道の駅境のサービスかじまん!



分かったこと・発見したこと

花火大会

ここが見どころ スポット!!

- 1位 利根川土手
- 2位 5席
- 3位 各自見たい物

その他

・正2R五右衛門大スターマイン、ナイアガラを待たせられるさかいらいりさとの池、たもと音米をコンクロされた菜の花など、約3000発の花火は見ごたえ十分です。しかも、観客にはぐねぐねと見たいという状況が、テンションが上がると思います。

・さかいらいりさとの池、利根川を歩きまわると、さかいらいりさとの池の花畑を川から見ると、いつもは見えない景色を見ることができ、和やかな気分になります。

・地境でとれた新鮮な野菜が、あり、境町の人が、クレーン車です。

ぜひ、見にきてください!



分かったこと・発見したこと

地元の農家が毎日採りてくる新鮮な野菜を買うことができます。

ココが見どころ

町の物産を展示販売するコーナーから、さとの味をまんぎつできる軽食、ささコーナーを備えた「道の駅さかい」。安くボリュームがある手延べうどん、そばや、中華や定食、さし茶、手づくりカステラがおすすめです!

24時間利用可能!

昭和32年に栽培されたのが始まりで、現在、茨城県のL15生産量は全国第2位!



まとめ

私は、境町がもと有名な地名になってほしいです。ぜひ、境町はもと、所があるのに、あまり、みなさんに知られていないからです。ぜひ、時間があつたら、境町に来て、いろんなことを知ってください!

まとめ

食い物を育ててくれた人や、作ってくれた人にかんじました!と思います。境町がもと、じまんできるような所になりたいです。